１１／１４　校長室より №319

９日から 17 日まで「心を育む給食週間」。今日の朝会では、給食委員会からの発表と栄養教諭の五雲寺先生からの食育講話がありあました。

給食委員会の発表のテーマは「給食の残食はどうなるのか」。このテーマに基づき、クイズ形式で全校生に考えてもらいました。その中で、飯豊町の調理場では、残食は専用の機械に入れられ微生物によって水に分解されるということでした。他にも、残食のルートを辿りながら、残食と地球温暖化の関係などについてよく調べられており、とても感心しました。

五雲寺先生には「給食から見る SDGs」というテーマで講話していただきました。フードロスの問題だけでなく、バーチャルウォーターという考え方を教えていただき、給食を残さず食べる、食器もきれいにして返すことは、水不足の問題解決の一助になるということでした。また、日本の食料自給率を上げるために“地産地消”はとても大切であり、飯豊町の給食ではできるだけ多くの飯豊産食材を使っているというお話で、さすが「SDGs 未来都市」と思ったところです。